

第7回 Debate on the Ring

2019年1月26日(土) 13:00-18:00

神戸ベイシェラトンホテル&タワース 3F(六甲アイランド内)

Session 1. アテトーゼ型CP患者の頸髄症に対する治療戦略 -至適頸椎アライメントを確保するために-

レフリー：姫路聖マリア病院整形外科 部長 尾崎琢磨
近畿大学医学部整形外科 准教授 宮本裕史

1. 前方再建の重要性

横浜南共済病院整形外科 部長
三原 久範 先生

2. 強固な後方固定の重要性

神戸労災病院整形外科 副部長
金山 修一 先生

3. アテトーゼ運動抑制の重要性

千葉大学医学部整形外科 講師
古矢 丈雄 先生

Session 2. スポーツ復帰に向けた腰椎分離症の治療戦略 -外固定とアスレチックリハビリテーションの意義、そして保存治療終了の目安と手術適応-

レフリー：兵庫県立加古川医療センター 院長 原田俊彦
神戸大学医学部整形外科脊椎外科学 特命教授 西田康太郎

1. 外固定を中心とした保存治療の最前線：安静徹底の重要性

徳島大学医学部整形外科 准教授
酒井 紀典 先生

2. アスレチックリハビリを中心とした早期競技復帰の模索：保存治療中に運動はどこまで許容されるのか？

三仁会あさひ病院 院長
神谷 光広 先生

3. 腰椎分離症の症状と診断、自然経過、そして手術適応・時期と術式選択

東千葉メディカルセンター整形外科 部長
青木 保親 先生

第7回 Debate on the Ring

2019年1月26日(土) 13:00-18:00

神戸ベイシェラトンホテル&タワース 3F

(六甲アイランド内 六甲ライナー「アイランドセンター」駅 直結)

※事前申込不要 (参加料 5,000円)

(先着200名。席に限りがありますので、遠方からお越しの際は事前にご連絡いただければ幸いです。)

※日整会認定4単位取得可能(1単位 1,000円)

Session1 (2単位) SS 脊椎脊髄病医資格継続単位

N-7 脊椎・脊髄疾患 N-8 神経・筋疾患(末梢神経麻痺を含む)

Session2 (2単位) SS 脊椎脊髄病医資格継続単位

N-2 外傷性疾患(スポーツ障害を含む) N-7 脊椎・脊髄疾患

連絡先: NPO法人兵庫脊椎脊髄病医療振興機構

(Hyogo Organization of Spinal Disorders: HOSD)

TEL: 090-4645-4595

E-mail: hosd110301@hosd.or.jp

HP: <http://www.hosd.or.jp/>

脊椎脊髄病専門医で組織したNPO法人兵庫脊椎脊髄病医療振興機構(HOSD)とNPO法人国際頸椎学会日本機構(JCSS)が共催で行う Debate on the Ringの第7回を開催いたします。脊椎脊髄病疾患のトピックについて、その分野のエキスパート達に各々の得意な手術方法を用いた治療方針を供覧していただきます。また演者間で難治症例について本音のディベートを行い、その治療方法の長・短所を明らかにすることで疾患の理解を深めることを目的とします。

【プログラム】

13:00-13:10 開会の挨拶

NPO法人兵庫脊椎脊髄病医療振興機構 副理事長

国立病院機構神戸医療センター 副院長

宇野耕吉

13:10-15:10 Session 1 アテトーゼ型CP患者の頸髄症に対する治療戦略
-至適頸椎アライメントを確保するために-

15:10-15:50 Coffee break

15:50-17:50 Session 2 スポーツ復帰に向けた腰椎分離症の治療戦略
-外固定とアスレチックリハビリテーションの意義、そして
保存治療終了の目安と手術適応-

17:50-18:00 閉会の挨拶

NPO法人兵庫脊椎脊髄病医療振興機構 理事長

神戸労災病院 院長

鷺見正敏